学校番号	４１４

令和８年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	ディベート・ ディスカッションⅠ	3	第2学年	・いいずな書店「総合英語 be Voyage to English Grammar 4th Edition」 ・いいずな書店「be English Logic and Expression Ⅰ Clear」 ・数研出版「四訂版〈データ分析〉大学入試 アップグレード UPGRADE 英文法・語法問題」 ・数研出版「三訂版〈データ分析〉大学入試 アップグレード UPGRADE 英文法・語法問題 完全演習 標準編」 ・数研出版「四訂版共通テスト10分リスニング プレノート」

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

ディベート・ディスカッションⅠの授業では、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、一つの段落や文章を書くことなどを通して、論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして伝える能力を養います。コミュニケーションを行う目的や場面・状況を設定し、それに応じた言語活動をペアやグループで多く行います。授業では積極的に活動に参加しましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第2学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	①日常的なあいさつができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。 ②ゆっくりはっきり話されれば、外国の文化・風習などなじみのないことでもその概要を理解することができる。	①300 語程度の英文を、複雑なところは時間をかけて読み、全体の要旨を理解し、大事な点をもれなく理解することができるようになる。 ②簡単なマニュアルや手引き書などを理解し、その内容に沿って行動（ゲームや工作など）することができるようになる。	自分のこれまでの経験、将来の夢や希望などについて、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く説明することができるようになる。	身近なトピック（趣味や将来の夢や希望など）について幅広く意見や情報の交換をすることができるようになる。	①身近な話題に関して説明をし、自分の意見を、つなぎの語やフレーズを活用して、まとまりのある段落をひとつ書くことができるようになる。 ②慣れ親しんだ語や表現を用いて、物事の手順を筋道立てて書くことができるようになる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識･技能	b 思考･判断･表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	英語の特徴やきまりに関する事項、対話、話、パラグラフの展開のしかたや論理構成について理解している。 実際のコミュニケーションにおいて、一定の支援を活用すれば、日常的な話題や社会的な話題について、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝える、伝え合う、そして書いて伝える、また、聞いたり読んだりしたことを基に、意見や主張などを論理の展開や構成を工夫しながら詳しく話して伝える、伝え合う、そして書いて伝える技能を身につけている。 〈実施方法〉 ・定期考査等	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、多様な語句や文を用いて、論理の展開や構成を工夫しながら詳しく話して伝える、伝え合っている、そして書いて伝えている。 〈実施方法〉 ・定期考査(応用問題等)	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、多様な語句や文を用いて、論理の展開や構成を工夫しながら詳しく話して伝えよう、伝え合おう、そして書いて伝えようとしている。 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話して伝えよう、伝え合おう、そして書いて伝えようとしている。 〈実施方法〉 ・活動ワークシート等、リスニング問題の取り組み状況等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり(領域)ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Section 1	話すこと (やり取り)	a: 文の基礎となる語句や情報を加える語句について理解している。 b: クラスメートに興味や関心のあることについて話すことができ、相手と会話を続けて、自分との共通点を探し出すことができる。 c: クラスメートに興味や関心のあることについて話すことができ、相手と会話を続けて、自分との共通点を探し出そうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査(応用問題等)、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Section 2	話すこと (発表)	a: 英語の語順と文の種類(文型)について理解している。 b: 日常生活についてスピーチをすることができる。 c: 日常生活についてスピーチをしようとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査(応用問題等)、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Section 3	書くこと	a: 時制(現在形、進行形、過去形など)の意味や働きについて理解している。 b: 学校生活について書くことができる。 c: 学校生活について書こうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査(応用問題等)、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Section 4	話すこと (やり取り)	a: 完了形の意味や働きについて理解している。 b: 旅先や達成した事柄について伝え合うことができる。 c: 旅先や達成した事柄について伝え合おうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査(応用問題等)、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等

	Section 5	話すこと （発表）	a: 助動詞の意味や働きについて理解している。 b: 学校の規則について話すことができる。 c: 学校の規則について話そうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Section 6	書くこと	a: 受動態の意味や働きについて理解している。 b: 交通の改善についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。 c: 交通の改善についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書こうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	第1考査			
2	Section 7	話すこと （やり取り）	a: 不定詞の意味や働きについて理解している。 b: 将来の夢について伝え合うことができる。 c: 将来の夢について伝え合おうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Section 8	話すこと （発表）	a: 動名詞の意味や働きについて理解している。 b: 趣味や興味についての情報を話すことができる。 c: 趣味や興味についての情報を話そうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Section 9	書くこと	a: 分詞の意味や働きについて理解している。 b: 自然を楽しめる場所のレビューについての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。 c: 自然を楽しめる場所のレビューについての情報を、ある程度まとまりのある文章で書こうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Section 10	話すこと （やり取り）	a: 関係詞の意味や働きについて理解している。 b: 尊敬する人やお勧めの便利な発明品について、伝え合うことができる。 c: 尊敬する人やお勧めの便利な発明品について、伝え合おうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Section 11	話すこと （発表）	a: 比較の意味や働きについて理解している。 b: 自分の家や町とほかの比較についての情報を、話すことができる。 c: 自分の家や町とほかの比較についての情報を、話そうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	第2考査			
	Section 12	話すこと （やり取り）	a: 仮定法の意味や働きについて理解している。 b: 自分がなりたい職業について伝え合うことができる。 c: 自分がなりたい職業について伝え合おうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等

	Section 13	話すこと （発表）	a: 疑問文の意味や働きについて理解している。 b: 商品についての情報を、話すことができる。 c: 商品についての情報を、話そうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Section 14	書くこと	a: 否定文の意味や働きについて理解している。 b: 日本の食文化についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。 c: 日本の食文化についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書こうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Section 15	話すこと （やり取り）	a: 語法の意味や働きについて理解している。 b: 第三者から入手した情報について、伝え合うことができる。 c: 第三者から入手した情報について、伝え合おうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Section 16	話すこと （発表）	a: 強調・倒置・挿入・省略の意味や働きについて理解している。 b: 身近な社会問題についての情報を話すことができる。 c: 身近な社会問題についての情報を話そうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	第3考査			
3	Section 17	話すこと （やり取り）	a: 無生物主語などのさまざまな表現の意味や働きについて理解している。 b: 尊敬する人やお勧めの便利な発明品について伝え合うことができる。 c: 尊敬する人やお勧めの便利な発明品について伝え合おうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Section 18	話すこと （発表）	a: 名詞・冠詞の意味や働きについて理解している。 b: 都市や町の名所についての情報を話すことができる。 c: 都市や町の名所についての情報を話そうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Section 19	書くこと	a: 代名詞・限定詞の意味や働きについて理解している。 b: 最近のニュースや自分に起きた出来事についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。 c: 最近のニュースや自分に起きた出来事についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書こうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Section 20	話すこと （やり取り）	a: 形容詞・副詞の意味や働きについて理解している。 b: 電化製品を買いに行くことについて伝え合うことができる。 c: 電化製品を買いに行くことについて伝え合おうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Section 21	話すこと （発表）	a: 前置詞の意味や働きについて理解している。 b: 自分が将来してみたいことについての情報を話すことができる。 c: 自分が将来してみたいことについての情報を話そうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等

	Section 22	書くこと	a: 接続詞の意味や働きについて理解している。 b: おとぎ話にアレンジを加えた情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。 c: おとぎ話にアレンジを加えた情報を、ある程度まとまりのある文章で書こうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査(応用問題等)、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	第4考査			

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度